

今年度から初登場！ 新品種米「あいちのこころ」の栽培開始

JAあいち尾東（代表理事組合長：市川耕一）は、今年度から新品種の米「あいちのこころ」の栽培を開始します。

当JAではこれまで「ゆめまつり」という米の栽培を行っていましたが、近年の高温により、収量の低下や品質の悪化等の課題が生じていました。この課題の解決に向けて、高温耐性がある品種「あいちのこころ」の栽培を開始します。

栽培開始に向けて当JAでは、「あいちのこころ」の播種（種まき）作業を行い、約150名の農家に苗の提供を行いました。

今年度は約50haの水田で「あいちのこころ」を栽培し、およそ3,000俵（180t）の収穫を見込んでいます。



▲「あいちのこころ」商品袋

【あいちのこころ（愛知135号）】

当品種は、愛知県農業総合試験場（長久手市）が愛知県経済農業協同組合連合会と共同で開発しました。高温耐性があり、白未熟粒（でんぷんが不十分な米粒）が生じにくいことが特徴で、2023年9月には県の奨励品種として採用されました。

【今後の予定】

「あいちのこころ」は5月上旬から田植えを行い、10月上旬頃から収穫を始め、同月に当JAの産直施設等で販売を開始する予定です。

米の銘柄ごとに稲作こよみを作成しています。詳しくはHPをご覧ください。

<お問い合わせ先>

※田植え・収穫作業の取材にお越しいただける際にはご一報ください

JAあいち尾東 総務企画部 総合企画課（担当：高野・濱西）

TEL：0561-56-0080 FAX：0561-72-8151 携帯：070-2248-6686

